

🎯 株式会社 日立ハイテクフィールドディング

駆け巡れ!
最先端の
その先を。

COMPANY PROFILE
会社紹介



最先端の半歩先を走り続ける —“当たり前”を支えるために—

「蛇口をひねれば水が出る」「安心して食品や薬品を口に入れられる」「PC・スマートフォンでいつでも情報が手に入る」「病院での検査はいつでも信用できる」「大学で研究に没頭できる」最先端のテクノロジーや安心して受けられる公共サービスは、私たちの日々の生活の中にある“当たり前”の存在です。しかしその裏には、研究やものづくり、公共事業を支えるために、国内外を駆け巡っている「サービスエンジニア」と呼ばれるスペシャリストたちがいます。

“当たり前”を支える仕事は、決してたやすいものではありません。それでも日立ハイテクフィールドイングは、最先端分野を支えるお客様の一步先、ではなく「半歩先」を走り続けます。お客様の“今”に寄り添ってお客様のご要望に沿った技術を提供しながら、お客様の半歩先で進むべき方向を照らしていくのです。今までも、これからも、世の中の発展に貢献するために。

OUR VALUE

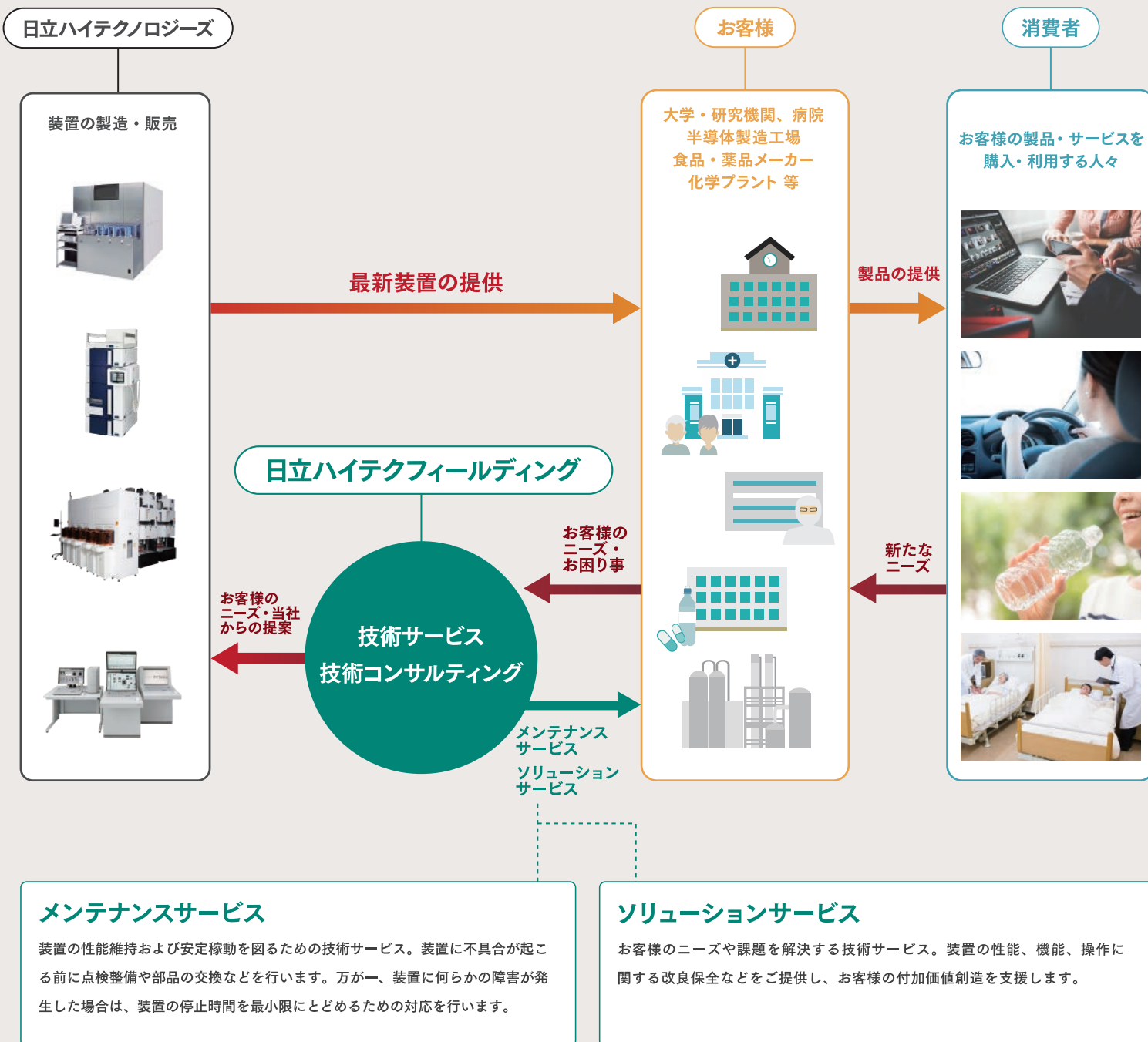
社会における 日立ハイテックフィールドディングの価値

皆さんの生活を支えている最先端のテクノロジーやものづくり、公共サービス。これらを提供する研究機関や各種メーカー、公共施設などが、日立ハイテックフィールドディングのお客様です。

お客様が安心して装置を使用できるよう、安定稼働を実現するための「メンテナンスサービス」と、お客様の使用目的や使用環境などによるお困り事やご要望にお応えするための「ソリューションサービス」を、私たちは提供しています。

また、お客様からのご意見やご要望、そしてサービスエンジニアが現場で感じた課題や提案内容を、工場（日立ハイテクノロジー）の設計、製造、営業などへ伝えることで、次世代の装置開発においても重要な役割を果たしています。

私たちは、お客様のパートナーとなってニーズやシーズをいち早くくみ取り、常に最適な技術サービスを提供し続けます。これにより、お客様のビジネスや研究がさらに加速し、社会がより発展していく。ここに、私たち日立ハイテックフィールドディングの価値があります。



サービスエンジニア

最前線（お客様先）へ足を運び、装置やシステムを最良に維持するために
技術サービスを提供するスペシャリスト。以下のような分野で活躍します。

プロセス装置部・評価装置部

半導体製造工程で欠かすことのできない微細パターン加工用エッチング装置と、半導体の品質検査や評価工程に不可欠な測長SEM（半導体パターンの寸法測定に特化した走査電子顕微鏡）を扱う部門です。装置の据付から保守・点検、各種ソリューションサービスの提供を実施。国際競争の激しい技術分野のため、お客様は国内のみならず、アジア、アメリカ、ヨーロッパ各国の主要メーカーにおよび、グローバルな活躍が期待されています。



半導体の製造や
検査を支える
各種装置

分析装置部

製薬、食品、エレクトロニクスメーカーなど企業の品質管理や研究・開発部門、大学の研究室、分析センターなどの基礎研究に用いられる分析装置を扱う部門です。装置の利用用途は幅広く、タンパク質やアミノ酸の解析、水中の重金属測定、先端工業製品の品質検査などに用いられています。装置の予防保全から装置運用、応用技術の提案を含む総合的なソリューションサービスまで、お客様のニーズに合わせて技術サービスを提供しています。



食品・薬品・素材・
環境分野などを
支える分析装置

医用機器部

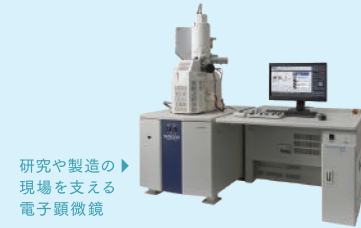
患者さんの状態を知るために、採取した血液や尿の成分を分析する生化学自動分析装置を扱う部門です。装置は、全国各地の病院や検査センターで使用されています。生命に関わる大事な検査は正確さとスピーディーさが要求されるため、装置の定期的なメンテナンスを行い、装置の信頼性を維持します。装置をご使用いただくお客様の働きやすさを、全面的にバックアップしています。



臨床の現場を
支える自動
分析装置

電子顕微鏡部

微細部位や構造の観察を行う走査電子顕微鏡や透過電子顕微鏡、観察試料作製のための集束イオンビーム加工観察装置などを扱う部門です。お客様となるのは半導体メーカー、大学の研究室、病院などの医療機関、各種研究所や民間の分析センターなど。各種電子顕微鏡および周辺装置の据付から保守・点検、また利用用途に合わせた運用支援まで、お客様のご要望に沿った総合的なサービス提供を行っています。



研究や製造の
現場を支える
電子顕微鏡

計測制御部

流量計や水位計に代表される各種工業計器や、プラント全体を制御するシステムなどを扱う部門です。お客様先は発電所や上下水道局、清掃工場などの公共施設、食品・製薬・石油プラントなど、社会のライフラインに関わる大規模な施設が多いため、担当領域が広く、作業はチーム単位で行います。また、トラブルの発生は周辺環境に大きな影響をもたらす可能性があるため、作業には機器の安定稼働と同時に細心の災害防止策が求められます。



社会インフラを
支える計測制御
システム

サービス営業・サービスサポート・事業スタッフ

サービスエンジニアと共に当社のサービス活動の一翼を担い、
基盤を支える各分野のスペシャリスト。

サービス営業



国内外のお客様に装置の消耗品・部品を販売する他、お客様に安心して装置をご使用いただくために、装置や設備に最適な部品交換時期・交換方法などをご提案しています。

サービスサポート



サービスエンジニアがより効率良く作業が行えるようなシステムの開発・運用、お客様からの電話受付対応、新たなサービスメニューの創出への取り組みなどを行っています。

事業スタッフ



社員全員が全力でお客様対応に取り組めるよう、入社から退職までの管理、職場環境の整備、成長のサポート、会社経営の管理・サポートなどを行っています。

主な仕事と役割

日立ハイテックフィールドディングの事業を支えているのは、当社で働くすべての社員たち。半導体製造・評価装置や分析装置、医用機器、電子顕微鏡、計測制御システム等の技術サービスを提供する「サービスエンジニア」をはじめ、装置の部品販売を行う「営業スタッフ」、サービスの現場で使用するシステムの開発や、お客様からの電話対応を行う「サービスサポートスタッフ」、人事・財務面でバックアップを行う「事業スタッフ」など、さまざまな職種の人がお客様対応に日々取り組んでいます。

写真で綴る日立ハイテクフィールドディング

日立ハイテクフィールドディングの教育や仕事などに関わるものの一部を写真とともに紹介します。右ページでは、各エリアの大きな拠点（本社・支社・支店）の外観図と、そのエリアで行われているイベントやボランティア活動の様子をお伝えします。「このエリアに配属されたら楽しそう」……などと想像しながら眺めてみるのも面白いかもしれません。



1 実習風景

当社の技術系新入社員は、1年間の「基礎技術教育」を受講し、担当装置の知識や技術サービスの基礎を身に付けます。



3 工具バッグ

サービスエンジニアが使用する基本工具の一部。入社すると、各部門の用途に合わせた工具セットが配付されます。



5 クリーンスーツ

半導体関連の装置の納入先は、塵などの混入が最低限に抑えられたクリーンルーム。ここでの作業は全身を覆う服装で行います。



7 サービスカー

サービスカーは、サービスエンジニアが全国各地のお客様先へ向かうのに利用する重要な「足」。スピーディーな対応に欠かせません。



9 避難訓練

有事の際に備えて、毎年、すべての拠点で避難訓練を実施。本社と西日本支社では、合同でBCP(※)対応の訓練も併せて行っています。



11 保養所「ハケ岳山荘」

当社が所有する保養所「ハケ岳山荘」。長野の大自然の中に位置し、格安で利用できます。スキーやゴルフが好きな人にはうってつけ。



2 新人実習の座学

装置の原理や、電気回路の基礎、測定機器や安全に関する教育などは、座学を通して知識を蓄えます。積極的に学ぶことが大事。



4 リフレッシュルーム

社員が最も多い東京本社には、息抜きやお昼休み用にリフレッシュルームが設置されています。仲間と楽しいひととき。



6 お客様サポートセンター

全国のお客様からの電話のお問い合わせは、このお客様サポートセンターで一括受付。お客様満足度の更なる向上をめざして日々対応中。



8 「エンブレム」

サービスエンジニアの対応について評価を頂くお客様アンケートを定期的実施。15回満点を頂くと「CSマイスター」として認定、表彰されます。



10 「ヘルメット」と「帰るポーチ」

避難時のために全社員に配付されている「ヘルメット」と「帰るポーチ」。帰るポーチの中身は水や保存食・懐中電灯・電池等。備えあれば憂いなし。



12 理科学習支援

CSR活動の一環として、本社近所に位置する花園小学校で理科学習の支援を実施しています。電子顕微鏡を用いた葉脈や茎の観察が人気!

活動エリアと各種イベント

関東・甲信越エリア (新宿、ひたちなか、つくば、千葉、鹿島、大宮、新潟、高崎、川越、松本、横浜)



本社



一大イベント「入社式」。社長の前で、新入社員による宣誓!

中国エリア (広島、倉敷、松江、周南)



中国支店



平和を願いながら、毎年、原爆ドーム周辺の清掃活動を実施しています。

東北エリア (仙台、盛岡、秋田、郡山)



東北支店



宮城県岩沼市で行われた植樹活動に参加。苗が早く大きくなりますように。

北海道エリア (札幌、帯広)



北海道支店



石狩川での清掃活動の様子。毎年、環境保全活動に積極的に参加しています。

中部・北陸エリア (名古屋、金沢、静岡、四日市)



中部支社



中部・北陸エリア合同で芦原温泉へ旅行。温泉とおいしい料理を堪能!

関西エリア (大阪、京都、兵庫、姫路)



西日本支社



毎年実施している防災・避難訓練。消火器の使い方はバッチリです。

九州エリア (福岡、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)



九州支店



福岡ドームで野球観戦。社員とその家族みんなで応援に燃えました。

四国エリア (高松、松山)



高松サービスステーション



毎年「日立グループの森プロジェクトin四国」に参加。森が育つ様子が楽しみ。

(*)Business Continuity Plan (事業継続計画) : 災害などの不測の事態で事業がストップした場合、いち早く事業を再開するために、あらかじめ立てておく基本計画

INTERVIEW 社員インタビュー



INTERVIEW 01

板橋 卓也

評価装置部（東京支社）
2014年入社

初めての据付は試行錯誤の連続

最適な感度調整を追求し続けた1カ月

私が担当しているのは、半導体ウエハ検査装置。「半導体ウエハ」とは、ICチップやカメラ、携帯電話など電子機器に使用される半導体でできた薄い基板のこと。このウエハに異物（ゴミ）がないか、検査をかけることで半導体の品質は管理されています。私が担当装置の据付を初めて行った1ヵ月間は、とにかく試行錯誤の連続でした。装置の搬入から電源の投入、ウエハを搬送するロボットの位置調整など、一連の作業を進めていく中で、最も大変だったのは装置の異物（ゴミ）を検出する感度の調整。この検査装置は、レーザを照射してウエハ表面上の異物から発生する散乱光を検出する装置ですが、レーザ光の乱れにより最小粒径の異物が正しく検出できなくなってしまう場合があります。今回の据付では、その状態が頻繁に発生してしまいました。ちょうど私が作業を行っていた時期に、他の装置の搬入もあって、人の出入りが激しく、装置への振動や室温など環境の変化も影響し、トラブルの原因究明が難航。問題が起きるたび、その原因を突き止め、何度も調整を重ねていく日々……そんな私をサポートしてくださったのは、経験豊富な先輩や装置の知識に精通した工場の方々。何かあればすぐに相談し、的確なアドバイスを頂けたおかげで、無事に当初の納期通り据付が完了しました。何が起るかわからない現場対応の難しさと、周囲の支えのありがたみを実感した案件でした。どんどん経験を積んで技術力を磨いていきたいです。



TAKUYA ITAHASHI

01

INTERVIEW 02

北原 吉人

医用機器部（帯広サービスステーション）
2012年入社

「技術力」向上中！医療現場を支える サービスエンジニアのプロをめざす

「高齢者をはじめとする患者さんの健康を支える医療に関連した機械を扱ってみたい」という想いを抱いて工学部へ進学しました。そして縁あって日立ハイテクフィールドの医用機器部に配属され、病院や検査センターで使用されている生化学自動分析装置のメンテナンスやトラブル対応、装置の取り扱いのアドバイスなどを行っています。現在の担当エリアは北海道全域。サービスカーに乗ってお客様先を回りながら、医療現場を支える装置に携わる責任を日々感じています。ある日、いつものように「何かお困り事はないですか？」と病院を訪問したときのこと。「実は時々データが不安定になるときがあるのですが、原因は何でしょうか」とお客様から相談を受けました。データを確認し、すぐにその場で装置の細部を点検。すると、血液のサンプルと試薬を攪拌させるために使用する超音波機構にちょっとした違和感があることに気づきました。調整をして再度データを出してみたところ、無事、不具合が解消。「ありがとうございます！」とお客様から感謝の言葉を頂くことができ、自分自身の技術力が上がっていることも実感できました。お客様から信頼され、相談されるためには、確かな技術力とお客様に対する理解が必要です。今後も装置に関する知識を深め、お客様と密にコミュニケーションをとり、信頼される存在になりたい。医療現場を支えるサービスエンジニアのプロをめざしています。



YOSHITO KITAHARA

02

INTERVIEW 03

石川 悟史

計測制御部（四日市サービスステーション）
2011年入社

タイムリミットは15分間

365日稼動するプラントを救え！

「水をタンクに入れる工程を制御するシステムにエラー表示が出ているので、すぐに様子を見に来てほしい」。ある日、お客様から緊急の連絡を受けて駆けつけたのが、工業の街・四日市にそびえ立つ巨大化学プラント。お客様に詳しく状況を尋ねてみると、どうやら工程を制御する信号を受け取る基板に不具合が発生していることが判明しました。しかし、原因が分かったからといって、すぐに基板の交換作業ができるわけではありません。その化学プラントは365日稼動しているため、ラインを止められる時間には制限があるのです。その日不具合の起きているシステムの稼動が止められるのは、たったの15分間。もしもその時間内で解決できなければ、工場の全体の稼動に大きな影響を与えてしまうことに……。しかも、この日は珍しくチームではなく私一人での作業。プレッシャーに押しつぶされそうになりながらも迅速に、かつ慎重に、基板を交換する作業を行いました。作業完了後、制御画面を確認すると……さっきまで表示されていたエラーは消え、正常な状態に復帰。立ち会っていたお客様と共に「良かったですね……」と胸をなでおろしました。このようなイレギュラーな不具合対応は、何度も起きるものではないため、対応を任される際には緊張します。けれど、緊張感のある現場で問題を無事解決できたときは、自分自身がひとりで大きく成長したことを実感できる瞬間でもあるんですね。



SATOSHI ISHIKAWA

03

INTERVIEW 04	宮嶋 知也	分析装置部（東京支社） 2010年入社
--------------	-------	------------------------

「傾聴力」と「推理力」を武器に、 最善の提案を模索し続ける

私が主に担当している「液体クロマトグラフ」は、薬品や食品、飲料などの成分を分析するための装置。装置の中には液体が流れる一本の「流路」があり、その流路の中に数十マイクロリットルの試料を流すと、成分によって流れるスピードが変化。その違いを利用して、成分を分析していきます。この流路のスピードや、管の中を流れている液体の種類を調整することで、必要なデータを出すことができるのですが……この装置はパラメーターの調整が複雑で、操作する側も出したいデータを得るのに熟練の技が必要なんです。そのため、お客様にとって必要なデータが簡単に出来るように、コミュニケーションをとりながらお客様に合った操作方法をご説明するのはもちろん、装置の状態からお客様のお困り事やご要望を推測し、アドバイスや調整を行うように心がけています。例えば、装置の使用履歴を解析して装置が1日に何回、何時間程度動いているのかを調べたり、装置に残っている液体からどんな液を使ってどんな成分のデータを出そうとしているのかを推理したり。そうすると「この成分について調べるならこんなカスタマイズが良いのでは」「あのソフトウェアに変えた方が、データを出すのがより簡単になるだろう」という新たなアイデアが浮かび、提案につながっていきます。お客様の本質的な課題解決をするべく、お客様と密に関係を築き、現場に目を光らせてかゆいところに手の届くようなサービスを提供する。サービスエンジニアならではの仕事のやりがいはいは、ここにあると思います。



INTERVIEW 05	金子 亜季子	電子顕微鏡部（東北支店） 2009年入社
--------------	--------	-------------------------



ダウンタイムを最小限に抑え 企業の生産活動に貢献したい

私が所属しているコーディネータグループのミッションは、「予防保全の向上」。この先5年間、どのようなメンテナンスを行うと装置の性能を維持できるのかなど、お客様の装置の使用状況に合わせてメンテナンスプランを検討し、お客様にご提案する活動を行っています。なぜ予防保全が重要かというと、あらかじめ計画を立てて、メンテナンスのために装置を止めることと、突発的なトラブルにより装置が止まってしまうこととは、全く意味合いが異なってくるからです。もしも、皆さんが論文の時期に、一番使いたい装置が突然使えなくなったら……？ きっと慌てふためいてしまいますよね。それは、企業も同じです。メーカーの製造ラインともなれば、毎日装置を使用するため、その重大さは計りしれません。企業の事業計画や生産計画に大きく関わる、装置の不稼働時間＝「ダウンタイム」を最小限にとどめるためのサポートをする。それが、私の役割です。コーディネータグループは、全国のお客様を担当するため、お客様へのご提案を電話で行っており、そこにこの仕事の難しさがあります。サービスエンジニア時代は担当エリアのお客様先に訪問し、お困り事やご要望を直接お聞きして提案していましたが、今はそうはいきません。お会いしたことのないお客様も多いため、最初に話すときは緊張……。それでも、私の提案に対して好意的な回答を頂いたときや、その後メンテナンスを実施いただいたことを知ると「お役に立てて良かった!」と嬉しくなります。

INTERVIEW 06	杉浦 聡	評価装置部（西日本支社） 2003年入社
--------------	------	-------------------------



スケールも精度も桁違い！ 台湾で経験した、最先端技術への挑戦の日々

半導体評価装置担当のサービスエンジニアとして台湾に駐在したのは、2008年から2012年の5年間。この期間に、ものづくりの急速な成長を目の当たりにしました。例えば、スマートフォンが世界で普及し始めたのもこの頃のこと。あるスマートフォンの最新機種が発売が決まると、半導体製造工場が新しく立ち上げられ、半導体評価装置が100台単位で日本から届きます。装置が届いてから工場の稼働が始まるまでの期間は、わずか3週間。限られた時間で、装置を1台1台セッティングしなければならいのですが、ただ据え付ければOK……というわけにはいきません。すべての装置の性能が均一になるよう、サービスエンジニアが調整を行う必要があります。しかも、半導体評価装置は、スマートフォンの「脳」の部分を司るICの回路の寸法を計測するものであり、ナノメートル単位の差異を見極める精度を求められる装置。据付だけでも大変でしたが、無事に据付を完了した後が本番でした。装置の性能を最大限引き出し、お客様の求める精度を追求することに追われ、工場が稼働し始めてからも、課題が尽きることはありません。生産工場の環境下でどのように装置の性能を維持させるか、試行錯誤の繰り返し。日々ノウハウを蓄積し、安定稼働に向けて奔走し続けました。当時は数々の苦労を経験しましたが、大きな成長の糧となりましたし、最先端のものづくり、最先端の技術に貢献していることを実感できる仕事に携われていることを誇りに思います。

活躍している先輩社員のタイプ

当社ではさまざまなタイプの先輩社員が活躍していますが、彼らにはいくつか共通点が……。以下の例を見て一つでも「あてはまる」と思った方は、当社で活躍できること間違いなし☆



機械いじりが大好き

例) プラモデルを作るのが好き、時計やPCを分解して遊んだことがある、研究で装置を扱うのが楽しい、壊れたものはできる限り自分で直したいと思う etc.



問題解決が好き

例) 難問を出されるとワクワクする、問題を解くまでのプロセスが好き、原因不明の現象に対して最後まで原因を追究する、友人からよく相談をされる etc.



人の役に立ちたい

例) 困っている人がいると気になる、目立たなくても人のためになることをするのが好き、英語は話せないけど海外からの旅行者に道案内をしたことがある etc.



人と接することが好き

例) 接客業のバイトが楽しい、誰かと一緒に力を合わせて物事に取り組むのが好き、初めて会った人と話が弾んだことがある、人から刺激を受けて成長したい etc.